

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
前見返し	下中央地図		
46	地図	別紙 1 参照	別紙 1 参照
85	右地図		

訂正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
142	19-20 行目	インド=ヨーロッパ語系のスラヴ人は古くは <u>ドニエプル川流域</u> に住んでいたと考えられるが、	インド=ヨーロッパ語系のスラヴ人は古くは <u>ドニエプル川(ドニプロ川)流域</u> に住んでいたと考
151	地図		
175	地図		

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
273	注 2	<p>② 自営農が中心であった北部の諸州とは異なり、ヴァージニアなど南部の諸州では、奴隷を使用したタバコ・米などのプランテーション経営がさかんで、輸出先であるイギリスとは経済的結びつきも強かった。</p>	<p>② 自営農が中心であった北部の植民地とは異なり、ヴァージニアなど南部の植民地では、奴隷を使用したタバコ・米などのプランテーション経営がさかんで、輸出先であるイギリスとは経済的結びつきも強かった。</p>
433	注 18	<p>⑬ こうした人権問題に対しては、1948年に採択された世界人権宣言、76年発効の国際人権規約、少数民族や先住民、移動労働者の権利を保護するウィーン宣言(93年)などの原則がある。また、98年に採択された「国際刑事裁判所(ICC)に関するローマ規定」のように、ジェノサイドや人道に対する罪、戦争犯罪などにかかわる個人を訴追できる制度ができつつある。また、紛争地域では、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)(→p.435)などが、「人間の安全保障」(→p.420)などの理念にもとづいて平和構築を行っている。</p>	<p>⑬ こうした人権問題に対しては、1948年に採択された世界人権宣言、76年発効の国際人権規約、少数民族や先住民、移動労働者の権利を保護するウィーン宣言(93年)などの原則がある。また、98年に採択された「国際刑事裁判所(ICC)に関するローマ規程」のように、ジェノサイドや人道に対する罪、戦争犯罪などにかかわる個人を訴追できる制度ができつつある。また、紛争地域では、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)(→p.435)などが、「人間の安全保障」(→p.420)などの理念にもとづいて平和構築を行っている。</p>

